

初春の花の宮古に松をうへてたみの戸とめる千世ぞえらる、略○中

家集元日聞鶯

西行上人

まめかけてたてたる宿の松にきて春の戸明る鶯のこゑ

〔徒然草上〕明行そらのけしき、昨日にかはりたりとは見えねど、ひきかへてめづらしきこゝちぞする、大路のさま、松たてわたしてはなやかにうれしげなるこそ、又あはれなれ、

〔京都御役所向大概覺書二〕二條御城松莊之事

一二條御城御門松鬼割木杙木、例年十二月廿七八日比、小堀仁右衛門方、稻荷村役人方、江申遣

三輪市十郎、江相渡候、且又葉竹之儀は、角倉與一方、市十郎、江相渡候由、

大坂御城内外御門松莊之事

一大坂御城内外御門松莊道具品々之事、例年極月三日之比、大坂御城代御定番衆より、兩奉行所

江申來候、早速小堀仁右衛門、右郡文右衛門、角倉與一、江申達、同所御材木奉行、仁右衛門方、江

案内申來次第、村々、江相觸候由、

一杙木其外品々者、十二月廿三日比、川崎御材木藏場迄指出、松竹者同廿五六日比、京橋口土橋先

迄指出御材木奉行中、江相渡候由、

右納村方、小堀仁右衛門御代官所、横大路村、同斷、石田村、以下三村略

一右同所御入用葉竹之儀、伏見支配所、例年相渡り候、二付、石川備中守方、江大坂、被申越、相渡

り候由、

〔要筐辨志三〕大手御門より外曲輪諸番所勤仕之次第

一御松、筋竹は葉なし、竿に等敷裏を切先の如く切り、松を添、如圖被爲建候事、

此恒例は、天正元龜之頃、神君濱松御在城之砌、甲斐信玄、與御合戰、被遊候、其節御敗軍、而夏目